

レーダー級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 }
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

[1] 無線局の免許状に記載される事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 通信方式
- 2 通信の相手方及び通信事項
- 3 無線設備の設置場所
- 4 無線局の目的

[2] 再免許を受けた無線航行移動局の免許の有効期間は何年か。次のうちから選べ。

- 1 10年
- 2 5年
- 3 3年
- 4 2年

[3] 船舶に設置する無線航行のためのレーダー（総務大臣が告示するものを除く。）は、電源電圧が定格電圧の（±）何パーセント以内において変動した場合においても安定に動作するものでなければならないか。無線設備規則の規定に照らし、次のうちから選べ。

- 1 2パーセント
- 2 5パーセント
- 3 10パーセント
- 4 20パーセント

[4] 無線従事者とその免許証の再交付を受けることができる場合に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者免許証を汚したとき。
- 2 無線従事者免許証を失ったとき。
- 3 氏名に変更を生じたとき。
- 4 住所に変更を生じたとき。

[5] 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 通信室内に保管する。
- 2 無線局に備え付ける。
- 3 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所に掲げる。
- 4 携帯する。

[6] 次の記述は、レーダー級海上特殊無線技士の資格を有する者が行うことができる無線設備の操作について述べたものである。電波法施行令の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

海岸局、船舶局及び船舶のための無線航行局のレーダーの で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作

- 1 外部の転換装置
- 2 空中線
- 3 電源設備
- 4 調整装置

レーダー級海上特殊無線技士試験問題

法 規

[7] 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 特定の相手方に対して行われる暗語による無線通信
- 2 特定の相手方に対して行われる無線通信
- 3 総務省令で定める周波数を使用して行われる無線通信
- 4 総務省令で定める周波数を使用して行われる暗語による無線通信

[8] 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 速やかに、総務大臣の承認を受ける。
- 2 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 3 10日以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 4 1箇月以内にその旨を総務大臣に届け出る。

[9] 無線局の臨時検査（電波法第73条第5項の検査）が行われることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 総務大臣に無線従事者選解任届を提出したとき。
- 2 総務大臣から許可を受け無線設備の変更の工事を行ったとき。
- 3 総務大臣から臨時に電波の発射の停止を命じられたとき。
- 4 総務大臣から無線局の免許を与えられたとき。

[10] 無線局の免許人は、電波法又は電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 2 その無線局の免許人にその旨を通知する。
- 3 その無線局の免許人を告発する。
- 4 その無線局の電波の発射の停止を求める。

[11] 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 期間を定めて行う電波の型式の制限
- 2 期間を定めて行う空中線電力の制限
- 3 期間を定めて行う通信の相手方又は通信事項の制限
- 4 再免許の拒否

[12] 無線局の免許状は、掲示を困難とするものを除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 船内の適当な箇所
- 2 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 3 航海船橋の適宜な箇所
- 4 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所